

第1部

民俗芸能交流会

17：30～

国指定重要無形
民俗文化財

水海の田楽・能舞 (福井県池田町)

池田町に約800年にわたり受け継がれてきた「水海の田楽・能舞」。鎌倉幕府第5代執権・北条時頼が雪で立ち往生した時、村人たちが「田楽」を舞い、お礼に時頼が「能舞」を教えたのが始まりとされています。毎年2月15日には古式に従って田楽四番と能舞五番を奉納しており、1つの祭礼において田楽と能舞（猿楽能）の両方を奉納するところが、この伝統行事の特徴です。



18：10～

石川県指定無形
文化財

御陣乗太鼓 (石川県輪島市名舟町)

石川県輪島市名舟町に伝わる伝統芸能。1577年（天正5年）に上杉謙信の軍勢が名舟に攻め込んだ際に、村の知恵者といわれる古老の指図に従い、樹の皮で仮面を作り、海藻を頭髮とし、太鼓を打ち鳴らしながら寝静まる上杉勢に夜襲をかけました。上杉勢は思いもよらぬ陣太鼓と奇怪きわまる怪物の夜襲に驚愕し、戦わずして退散したと伝えられています。村人達は名舟沖にある舳倉島の奥津姫神の御神徳によるものとし、毎年奥津姫神社の大祭（名舟大祭・7月31日夜から8月1日）に仮面をつけて太鼓を打ち鳴らしながら神輿渡御の先駆をつとめ、氏神への感謝を捧げる習わしとなりました。



開演

17：30

18：30～

休憩 30分

関連行事



関連行事の詳細は
こちらから

変身・能役者体験 [能面美術館]

能面・装束の着装体験、所作体験、能舞台上での記念撮影

【日時】令和7年8月11日(月・祝) 10：00～15：00

【会場】池田町能面美術館(池田町志津原 17-2)

【お問合せ】TEL：0778-44-8060

事前予約可



創作能面展

桑田能忍氏、桑田能守氏ら面打ち師による
創作能面30点を含む、約100点を展示

【日時】令和7年8月1日(金)～8月31日(日) 10：00～16：00

【会場】池田町能面美術館(池田町志津原 17-2)

【休館日】火曜日

【お問合せ】TEL：0778-44-7757

入場料
300円/人

薪能入場券提示で
入場無料

飲食店・物品販売

おやつや軽食を販売する
テントやキッチンカーが
出店します！

・薪能グッズ(Tシャツ、
風呂敷、キーホルダー 等)
・書籍(越前池田の古面 等)



お茶席

池田抹茶教室が
抹茶を
振る舞います。



エコキャンドル

池田町青年団が、
エコキャンドルを灯して、
池田の夜を彩ります。

【会場】
須波阿須疑神社参道



第2部

葉月薪能

19：00～

火入れ式

19：10～

能楽師による解説

19：20～

狂言(大蔵流)「蚊相撲」

大名が相撲の者を抱えようと、太郎冠者を上下の街道へ向かわせます。太郎冠者が連れて帰って来たのは、相撲が得意という不思議な顔立ちをした男。大名は自ら相手をして相撲を取りますが、取り組むやいなや、大名は「シクシク…」と刺されてふらふらになります。男が江州(今の滋賀県)守山の者というところから、蚊の精であろうと気づいた大名は、扇で扇ぎながら今一度勝負すると、蚊の精はふらりふらりと…。

この「蚊の精」に使用する面は「うそ吹き」。うそとは口笛のことで、口笛を吹く尖らせた口が特徴です。この「うそ吹き」、時には「案山子」「貝」「天狗」などなどの役もこなす大変忙しい面です。



人間国宝
茂山 七五三
(しげやま しめ)
狂言方大蔵流能楽師
2020年
芸術選奨文部科学
大臣賞受賞
2023年
重要無形文化財「狂言」
各個指定保持者
(人間国宝)認定

茂山 宗彦
(しげやま もとひこ)
狂言方大蔵流能楽師
二世茂山七五三の長男。祖父は四世茂山千作。父、祖父および曾祖父(三世茂山千作)に師事し、4歳のときに「以呂波」で初舞台。愛称は「もっぴー」。NHKテレビドラマに出演等、狂言以外の活動でも活躍。

うそ吹き
空吹
「越前池田」
能楽の里が選ぶ能面展
第22回全国能面公募展
写し面の部
審査員特別賞作品
清水充子さん(京都府)
作の「空吹」が
使用されます。

19：40～

能(金剛流)「車僧」

出家とは家を出ること。一つの場所に定住しないため小さな車に乗り、昼は車輪のままにまかせて都を巡り、夜は車の中で眠っていた僧がいました。その僧を車僧と人々は呼びました。しかし能の主人公(シテ)はその車僧ではなく、車僧に行比べを挑み、打ち負かされる愛宕山の大天狗・太郎坊です。

雪の日、破れ車(椅子車と言う独特の作り物で表現)に乗った車僧(ワキ)が嵯峨野、嵐山に来てあたりの景色を眺めていると、一人の山伏が現れて僧にチョッカイを出してきます。軽くあしらわれた山伏は、愛宕山の太郎坊に住む恐ろしい者だと凄み、黒雲に乗って飛び去るまでが前半です。

後半は先の山伏が本来の大天狗の姿で現れ、車僧がどれ位の力を持っているか挑みます。平然としている車僧の「静」、自在な動きをする天狗の「動」の対比が面白い能です。また能では極めて珍しく笑いを誘う場面があるのも特色です。



人間国宝
金剛 永謹
(こんごう ひさのり)
シテ方金剛流二十六世宗家
2017年
芸術選奨文部科学大臣賞受賞
2018年
紫綬褒章受章
2023年
恩賜賞・日本芸術院賞受賞
重要無形文化財「能楽」
各個指定保持者(人間国宝)認定
フランス芸術文化勲章オフィシエ受章

金剛 龍謹
(こんごう たつり)
シテ方金剛流若宗家
金剛流二十六世宗家 金剛永謹の長男。幼少より父、祖父(二世金剛厳)に師事し、5歳で仕舞「狸々」にて初舞台。全国・海外での数多くの公演に出演しながら、大学での講義や各地の小中学校での巡回公演など若い世代への普及にも努める。

おおべし
大癒見
「越前池田」
能楽の里が選ぶ能面展
第22回全国能面公募展
写し面の部
最優秀賞作品
田中徳平さん(福岡県)
作の「大癒見」が
使用されます。

終演

21：00
(予定)